

# 令和4年度神戸商業高等学校 学校評価報告

# 1 教職員

## (1) 自己評価結果

※ ① よくできている ② できている ③ あまりできていない ④ できていない で評価

※ 判定：①と②を合わせた割合：【A】100%～76%、【B】75%～46%、【C】45%～21%、【D】20% (回答：56名)

領域	評価の観点	評価項目	質問内容	令和4年度					判定	
				①	②	③	④	①+②		
学校運営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	学校(部を含む)は、ホームページ、メール(ラインネット)、生徒会新聞、学年通信、保護者宛文書、PTA会合等を通じて学校の情報発信はできたか。	1	10.7%	76.8%	12.5%	0.0%	87.5%	A
		学校評議員制度等を活用した学校運営の推進	学校(部を含む)は、学校評議員会で得られた意見を教育活動等に活かすことはできたか。	2	7.1%	66.1%	25.0%	1.8%	73.2%	B
		地域や関係機関と連携した安全な学校づくり	学校(部を含む)は、地域や近隣の学校、関係諸機関との連携を密にし、生徒の安全や生徒指導の充実を図ることができたか。	3	8.9%	76.8%	14.3%	0.0%	85.7%	A
		中学校関係者への本校理解の推進	学校(部を含む)は、オープンハイスクールや学校見学会・進路説明会・中学校訪問等を通じて、関係者に本校理解を推進することができたか。	4	17.9%	42.9%	35.7%	3.6%	60.7%	B
	生徒指導	生徒指導方針の確認と指導体制の推進	学校の教員は、生徒指導方針を理解し、定期的に指導方針の確認ができたか。	5	7.1%	57.1%	32.1%	3.6%	64.3%	B
		学校いじめ防止基本方針に基づいた組織的な対応	学校(部を含む)は、学校いじめ防止基本方針に基づいて、未然防止、早期発見、早期対応が組織的に行われたか。	6	14.3%	69.6%	14.3%	1.8%	83.9%	A
		生徒の内面の理解を図る指導の工夫	学校の教員は、生徒一人一人の内面に対する共感的な理解を深め、人間的なふれあいを通して、それぞれの個性をより発揮できるよう指導・助言ができたか。	7	5.4%	58.9%	32.1%	3.6%	64.3%	B
		生徒の自主・自律の精神を育む指導の工夫	学校(部を含む)は、生徒会が中心となって、各種行事の企画・運営を行うことができたか。また、部活動においても、生徒が主体的に活動できているか。	8	7.1%	53.6%	35.7%	3.6%	60.7%	B
		基本的生活習慣の育成	学校の生徒は、あいさつ・服装・時間厳守等の基本的生活ができているか。	9	5.4%	66.1%	23.2%	5.4%	71.4%	B
	進路指導	進路指導体制の充実	学校(部を含む)は、3年間を見通した計画的な指導がおこなわれたか。	10	12.5%	58.9%	19.6%	8.9%	71.4%	A
		職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	学校(部を含む)は、LHR、進路ガイダンス、インターンシップ、企業見学など多様な方法により、生徒の職業観・勤労観を育成し、併せて将来を見据えた進路選択能力を養うことができたか。	11	12.5%	66.1%	16.1%	5.4%	78.6%	A
		主体的な進路選択能力の育成	学校の生徒は、卒業生を囲む座談会、進学ガイダンス、就職・進学資料室活用を通して、自らの生き方・在り方を考え、主体的な進路選択能力を身につけることができたか。	12	14.3%	53.6%	23.2%	8.9%	67.9%	A
		適切な進路情報の提供と継続した進路指導の実施	学校(部を含む)は、適切な進路情報をタイムリーに提供し、各学年の生徒の実情に対応した進路指導ができたか。	13	14.3%	64.3%	17.9%	3.6%	78.6%	A
		キャリア教育を踏まえた職業指導の充実	学校(部を含む)は、自らの生き方・考え方・在り方を考えさせた職業選択指導ができたか。	14	8.9%	64.3%	21.4%	5.4%	73.2%	B

領域	評価の観点	評価項目	質問内容	令和4年度					判定		
				①	②	③	④	①+②			
学校運営	教職員の 資質向上	実践的指導力の向上	学校の教員は、研究授業の開催、指導訪問、教育実習生への指導等、各種の公開授業を活用し、実践的指導力を高めることができたか。	15	5.4%	62.5%	30.4%	1.8%	67.9%	B	
			学校の教員は、出張・研修等で得た情報を職員会議や研修などにおいて教職員間で共有できたか。	16	3.6%	62.5%	33.9%	0.0%	66.1%	B	
		出張・研修等で得た情報の共有	学校の教員は、ICT機器を授業で活用し、生徒の理解度を高めることができたか。	17	16.1%	76.8%	7.1%	0.0%	92.9%	A	
			学校の生徒は、生徒自身がICT機器を活用した授業を受けることで理解度を高めることができたか。	18	12.5%	73.2%	14.3%	0.0%	85.7%	A	
		計画性を持った研修の実施	学校（部を含む）は、生徒指導部・保健教育相談部・キャリアセンター等、計画的に研修を実施することができたか。	19	3.6%	46.4%	46.4%	3.6%	50.0%	B	
	危機管理 体制の整備	実効ある学校マニュアルの策定	学校（部を含む）は、危機管理マニュアルの整備・見直しを図られ、危機管理体制が改善したか。	20	7.1%	78.6%	14.3%	0.0%	85.7%	B	
		家庭・地域・関係機関と連携した危機管理体制の推進	学校の教員は、具体的な取り組み内容を職員会議、学年会議や職員打合せ等機会あるごとに主旨とともにアナウンスすることができたか。	21	7.1%	57.1%	33.9%	1.8%	64.3%	B	
		生徒に関する防犯教育の充実	学校の生徒は、関係機関の講話、全校集会での講話、避難訓練等で防犯についての意識や対応能力を高めることができたか。	22	7.1%	55.4%	37.5%	0.0%	62.5%	B	
教員の実践的な研修・訓練		学校の教員は、実践的な避難訓練や救急救命講習会等を通して、緊急時の適切な対応や意識、技術を高めることができたか。	23	7.1%	51.8%	39.3%	1.8%	58.9%	B		
教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	体験的・問題解決的な学習の展開	学校（部を含む）は、インターンシップ・ふれあい育児体験等の体験的・問題解決的な学習を推進することができたか。	24	12.5%	73.2%	12.5%	1.8%	85.7%	A	
		生涯学習の視点に立った実践能力の育成	学校（部を含む）は、学校設定教科・科目など多様な選択科目を設定し、興味・関心に応じた教育課程を編成することができたか。	25	8.9%	55.4%	33.9%	1.8%	64.3%	B	
	基礎基本の定着	生徒の学力の把握と評価規準の設定	学校の教員は、各種データを効果的に活用して、生徒の学力を把握し、評価について工夫しているか。	26	7.1%	71.4%	21.4%	0.0%	78.6%	A	
		学ぶ喜びや達成感が味わえる指導方法の工夫	学校の教員は、多様な指導形態について工夫・研修を行い、基礎的な学力の定着を基に学ぶ喜びや達成感が味わえる授業づくりができたか。	27	8.9%	62.5%	25.0%	3.6%	71.4%	B	
	課題研究	教職員の協働体制の確立	学校（部を含む）は、教職員の特技や専門性を活かした配置や生徒のニーズに対応した教職員間での協力はできていたか。	28	10.7%	44.6%	39.3%	5.4%	55.4%	B	
		創意工夫を生かした実践の展開	学校の教員は、生徒自らが課題を設定し、その解決を図るための学習に取組めるように、多様な実践活動を推進できたか。	29	8.9%	66.1%	23.2%	1.8%	75.0%	B	
	個に応じた学習指導の徹底	評価方法の創意工夫	学校の教員は、各教科で評価方法についての検討を重ね、学校全体で意見交換や共通認識ができていたか。	30	7.1%	71.4%	21.4%	0.0%	78.6%	B	
		指導形態の工夫	学校（部を含む）は、習熟度別指導・少人数指導・同室複数指導等、科目の特性・生徒の実態に応じた指導形態について工夫されていたか。	31	14.3%	67.9%	16.1%	1.8%	82.1%	A	
	課題教育	安全教育	実践的な安全教育への取り組み	学校（部を含む）は、交通安全講話や薬物、情報モラルに関する講話を実施し、生徒の意識を高められたか。	32	7.1%	69.6%	21.4%	1.8%	76.8%	A
		人権教育	確かな人権意識の育成	学校の生徒は、人権LHRや講演会、人権映画を鑑賞し、人権尊重の精神を醸成できたか。	33	7.1%	66.1%	23.2%	3.6%	73.2%	B
地域貢献事業		地域貢献の推進	学校の生徒は、クリーンアップ、プログラム教室、ワークキャンプ等を通して地域との交流を図り、地域の一員としての自覚を高め、地域に貢献する意識を高めることができたか。	34	17.9%	67.9%	14.3%	0.0%	85.7%	A	

(2) 主な自由記述

- 本校の情報発信について、さらにきめ細やかに発信していく必要性を感じている。
- できているように、思えることも多くあったが、保護者・生徒アンケートを読んで少し意識が変化した。
- 組織としても、形式的には整っているのに、よくできているか、否かと言うと、厳しい。
- 年々業務の偏りが顕著になってきている。(一部の人の負担増となっている。)
- ある仕事に対して、各部署で組織的に行うことで現状を改善できるのではないか。(内容にもよるが、その人しかできない仕事としてとらえるのではなく、その部署全体で共有して進める体制づくりが必要)

2 生徒

(1) アンケート結果

※ ① その通りだと思う ② だいたいその通りだと思う ③ あまりそうは思わない ④ そうは思わない で評価

※ 判定 : ①と②を合わせた割合 : **[A]** 100%~76%, **[B]** 75%~46%, **[C]** 45%~21%, **[D]** 20%~0%

(回答:688名)

No	評価項目	令和4年度					判定
		①	②	③	④	①+②	
1	本校には、他校にない特色がある。	54.7%	33.3%	6.4%	5.7%	87.9%	A
2	学校での各種の活動は、自主的に取り組んでいる。	21.8%	47.4%	22.8%	8.0%	69.2%	B
3	学校の授業はわかりやすいように工夫されている。	18.9%	57.3%	17.9%	6.0%	76.2%	A
4	先生は生徒が主体的に取り組める授業を行っている。	24.7%	51.0%	18.9%	5.4%	75.7%	B

No	評価項目	令和4年度					判定
		①	②	③	④	①+②	
5	先生は教材や指導方法を工夫し授業に臨んでいる。	28.5%	54.2%	13.4%	3.9%	82.7%	A
6	先生はICT機器を積極的に活用して授業を行っている。	40.1%	44.6%	11.8%	3.5%	84.7%	A
7	生徒は積極的にICT機器を授業で活用している。	30.5%	36.5%	23.0%	10.0%	67.0%	B
8	ICT機器を活用した授業により、学習内容への理解度が 高まっている。	22.5%	45.2%	25.7%	6.5%	67.7%	B
9	先生が課す家庭での宿題や課題の内容・分量は適切である。	23.4%	35.6%	22.8%	18.2%	59.0%	B
10	生徒は共通教科(普通科)の力を伸ばすことができている。	11.5%	39.4%	34.7%	14.4%	50.9%	B
11	生徒は専門教科(商業科)の力を伸ばすことができている。	57.1%	34.4%	5.8%	2.6%	91.6%	A
12	学校行事は充実している。	25.6%	39.7%	23.4%	11.3%	65.3%	B
13	生徒は学校行事を主体的に取り組んでいる。	36.8%	46.1%	11.6%	5.5%	82.8%	A
14	学校の生徒指導(ビジネススタンダード)の方針に共感できる。	19.0%	39.5%	23.3%	18.2%	58.6%	B

No	評価項目	令和4年度					判定
		①	②	③	④	①+②	
15	生徒はマナーやルールをよく守っている。	16.6%	42.4%	29.7%	11.3%	59.0%	B
16	先生は生徒の悩みや相談にのってくれている。	34.6%	45.6%	13.5%	6.3%	80.2%	A
17	学校では互いに人権への配慮がある生活ができている。	33.4%	49.6%	11.0%	6.0%	83.0%	A
18	先生の検定に向けての指導は、適切に行われている。	55.7%	35.8%	4.8%	3.8%	91.4%	A
19	学校は進路に関する情報をよく提供してくれている。	48.3%	39.1%	9.2%	3.5%	87.4%	A
20	学校は進学・就職するために必要な対策を行っている。	51.9%	38.5%	6.5%	3.1%	90.4%	A
21	学校は学校生活に必要な情報を学年通信・ホームページ等を通して生徒に提供している。	31.3%	51.0%	11.9%	5.8%	82.3%	A
22	学校は非常時に備えて必要な訓練ができている。	34.6%	45.6%	13.5%	6.3%	80.2%	A
23	私はこの学校に入学してよかったと思っている。	33.4%	49.6%	11.0%	6.0%	83.0%	A

### 3 保護者

#### (1) アンケート結果

※ ① よくあてはまる ② だいたいあてはまる ③ あまりあてはまらない ④ ほとんどあてはまらない  
⑤ よくわからない で評価

※ 判定 : ①と②を合わせた割合 : **【A】** 100%~76%, **【B】** 75%~46%, **【C】** 45%~21%, **【D】** 20%~0% (回答:481名)

No	評価項目	令和4年度					判定
		①	②	③	④	①+②	
1	学校は適切に学習指導を行っている。	38.9%	53.4%	6.4%	1.2%	92.3%	A
2	学校は適切に部活動の指導を行っている。	28.7%	50.9%	16.2%	4.2%	79.6%	A
3	学校が課す家庭での宿題や課題の内容・分量は適切である。	22.7%	58.6%	16.6%	2.1%	81.3%	A
4	学校は生徒を指導するにあたり家庭と密接に連絡を取ることができている。	19.8%	49.3%	26.0%	5.0%	69.0%	B
5	学校は生徒にわかる授業を展開するため努力している。	24.7%	58.8%	14.6%	1.9%	83.6%	A
6	学校で行われている保護者会、三者面談等は満足できるものである。	31.8%	55.1%	9.8%	3.3%	86.9%	A

No	評価項目	令和4年度					判定
		①	②	③	④	①+②	
7	学校は生徒の基本的な生活習慣を確立するため、あいさつや頭髪、服装や言葉遣いなどの指導を適切に行っている。	30.6%	54.7%	11.2%	3.5%	85.2%	A
8	学校は1人ひとりの生徒を大切にす姿勢で指導を行っている。	26.6%	52.6%	17.5%	3.3%	79.2%	A
9	学校は生徒が高校生活全般を楽しいと感じ、明るく学校生活を送れるよう学校行事を実施している。	28.9%	54.5%	13.9%	2.7%	83.4%	A
10	学校は学習施設や設備を適切に整えている。	29.1%	53.0%	15.8%	2.1%	82.1%	A
11	学校は生徒・保護者が必要としている進路情報を提供している。	24.7%	55.7%	17.3%	2.3%	80.5%	A
12	学校のラインネットやホームページにより適切な情報が入手できる。	18.9%	56.1%	20.6%	4.4%	75.1%	B
13	学校からの「学年通信」や「進路便り」などは手元に届いている。	28.1%	33.9%	25.6%	12.5%	62.0%	B
14	学校は検定に向けての指導を適切に行っている。	44.5%	47.4%	6.9%	1.2%	91.9%	A
15	学校が地域のイベント協力や地域清掃活動など、地域貢献事業を行っていることを知っている。	38.3%	48.6%	9.4%	3.7%	86.9%	A
16	学校は学校行事や学校運営にP T Aが協力する体制が整っている。	19.3%	66.5%	12.9%	1.2%	85.9%	A



No	評価項目	令和4年度					判定
		①	②	③	④	①+②	
17	学校はICT機器を活用した効果的な学習指導が行われている。	18.5%	65.5%	12.5%	3.5%	84.0%	A
18	学校全体の雰囲気は良好である。	26.0%	59.7%	10.6%	3.7%	85.7%	A
19	この学校に入学させて良かったと思っている。	49.7%	39.1%	8.9%	2.3%	88.8%	A

#### 4 生徒及び保護者の主な自由記述

##### 生徒

- ✚ 高校3年間を活かして簿記や情報処理のスキルを身につけられたことは本当によかったと思います。県商だからこそできる体験がたくさんあり、この学校に入学してよかったと思いました。
- ✚ これまでの伝統を大事にするのも時代の流れに遅れないようにしたほうがいいと思う。
- ✚ ICT機器を使いこなしている先生とそうでない先生では大きく授業のわかりやすさに差がある。早急にすべての先生がICT機器をうまく活用できるような取り組みが必要だ。組織としても、形式的には整っているのに、よくできているか、否かで言うと、厳しい。
- ✚ 検定のサポートは充実していてとてもいいと思うけど制服を今の時代にあったものにするのと、文化祭などはもっと規模を大きくしたらみんな学校生活が楽しくなると思った。

##### 保護者

- ✚ 3者面談を増やし 学校と家庭を近づけては如何でしょうか？
- ✚ 学校からのお手紙をあまり出さないのが困っていますが、メールが届くのでありがたいです。高校生にもなってお恥ずかしいのですが保護者へのメッセージをまめに貰えると助かります。カーディガン及びセーターですが家からのものを使っていますがそのままでは教室から出られないとのこと規定のカーディガンがあればそれも解消されるのではないかと少し暑い時寒い時などジャケットじゃ暑いブラウスだけでは寒いという季節には便利だと思うので、制服として作って貰えれば有難いです。
- ✚ 一部の先生の生徒に対する上からの話し方は如何なものかと思う。もう少し相手の話を聞いてもいいと思う。

- 5 令和4年度学校評価については、アンケートの内容の見直しを行ったため、前年度との対比ができず、そのため前年対比による分析は行っていないが、来年度は、アンケートの内容について系統づけたものへと見直しを行い、よりよい学校経営を目指す。

